別添４

資料１－３

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

蒲郡市　地域公共交通計画の評価等結果（令和５年４月～６年３月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
鉄道（名鉄西尾・蒲郡線） 年間利用者数：155万人/年	交通事業者との事業継続及び連携の合意を基に、利用促進策を実施。市民の協力を得た利用促進活動も実施。	交通事業者による利用実績データより	吉良吉田～蒲郡駅間 年間利用者数：139.0万人【未達成】 （前年比：106%）	コロナ禍前の実績を基に目標値を設定しており、コロナからの回復は９割ほどに留まるが、毎年回復（増加）を続けている。鉄道存続に向けた利用促進策を継続実施する。	
民間路線バス 年間利用者数：16万人/年	市より運行費用を補助し路線維持確保を行う。バスマップを作成、配布する。	交通事業者による利用実績データより	利用者数：11.4万人【未達成】 （前年比：103%）	コロナ禍による減便前の実績を基に目標値を設定しており、現状の便数では目標達成は困難。大幅な回復はないが、利用者数は増加傾向にある。継続して利用促進策を実施するとともに、コミュニティバスを含むバスネットワークの見直しについても検討する。	
支線バス 総利用者数の増加。 複数路線があり、路線別利用者数の増加と収支率10%で評価。	バスマップを作成し、配布する。各沿線地区での公民館便りによるPR活動を実施。	交通事業者による利用実績データより	総利用者数：増加【達成】 収支率：形原【達成】 その他の地区【未達成】 1形原：前年比112%（収支12.1%） 2東部：　〃　145%（収支5.6%） 3西部：　〃　127%（収支6.3%） 4三谷：　〃　142%（収支6.7%） 5大塚：　〃　134%（収支6.7%） 6西浦：R6年3月より運行（－）	路線毎に路線の導入時期、沿線人口の差異等の地域特性があるため、地域差が出ている。新たな地区での導入、運行日数の増加により利用者数は年々増加している。一方で、収支率目標については、100円運賃・地区内循環という運行形態では達成が難しい状況。引き続き、周知、利用促進を行う。	
タクシー （高齢者タクシー運賃助成事業） 利用者数：3,500人/年	ホームページ、広報等によるPR活動を実施。	交通事業者による利用実績データより	利用者数：2,870人 （前年比：97%）	コロナ禍前の実績を基に目標値を設定しており、コロナ禍を境に利用者数が減少した。タクシーの稼働台数の減少やコミュニティバス導入地区の追加の影響が考えられる。引き続き広報活動を実施して広く周知を図る。	
鉄道・民間路線バス・支線バス 人口カバー率：92%以上	交通空白地となっている地域住民代表への聞き取り等を踏まえ、地域に適した公共交通の導入を進める。	－	－	－	計画期間を通して改善を図っていく。
全モード 日常の移動に不便を感じている人の割合：30%未満	交通空白地の解消をはじめ交通網の充実を図るとともに、バスマップの作成など利用してもらうための情報発信を行う。	－	－	－	計画更新時の市民アンケートにより改善状況を把握。

（記載に当たっての留意事項）

- 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。